

1 今月の星空

上旬 中旬 下旬
21 時頃 20 時頃 19 時頃

天文現象など

- 1/14-23 金星と土星が空で接近（夕方・西の空）
- 1/3-5 月・金星・土星が並ぶ
- 1/4 しぶんぎ座流星群が極大（明け方）
- 1/7 上弦 ☾
- 1/10,11 月と木星が並ぶ
- 1/12 地球と火星の最接近（距離 9,608 万 km）
- 1/13 月・火星・ボルクスが並ぶ
- 1/14 満月 ● / 月と火星が並ぶ
- 1/16 月とレグルスが並ぶ
- 1/21 月とスピカが並ぶ（午前 0 時～明け方）
- 1/22 下弦 ☾
- 1/25 月とアンタレスが並ぶ（午前 4 時～明け方）
- 1/29 新月 ○

星空ワンポイント

新しい年の始まりですね。先月もご紹介した「すばる」ですが、その星の並びに注目して「はごいたばし」の名も伝わっています。また、この頃東から仲良く昇ってくるふたご座の明るい星ふたつを「門松」に見立てたり、時期に合わせて「雑煮星」などともよんだそうです。



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

星図は空にかざして使います。
東の空を眺めるときは、星図の東が下になるように持ってかざします。

今月の一枚 火星からみた地球と月

今月の1枚は、2007年に火星軌道から撮影された地球と月の写真です。火星から見ると、地球も月のように満ち欠けをしていますね。

今年の1月に2年2か月ぶりの接近となる火星は、最接近のころになると、星座の星で最も明るいおおいて座のシリウスと同じマイナス1.4等級まで明るくなります。街中からでも良く目立ち、肉眼でも望遠鏡でも楽しめますが、このとき火星から地球はどのように見えているのでしょうか？ 地球は、火星よりも内側を公転しています。地球と火星が接近しているとき、火星からは地球が太陽と同じ方向に見えるため、最接近の際には火星から地球を見ることは難しそうです。しかし、春ごろになると、地球からは引き続き火星が、そして火星からは地球が夜空に見えるようになります。火星をご覧になるときは、思い出してみてください。



©NASA/JPL-Caltech/University of Arizona

NASAの火星探査機 MRO の高解像度カメラにより
2007年10月3日に取得された画像



【プラネタリウム講演会】 星座の起源 古代メソポタミア・エジプトの星座

星座はいつ、どこで誕生したのでしょうか。プラネタリウムではギリシア神話がなじみですが、星座が作られたのはギリシアとは違う場所。ピラミッドの作られた時代や、ツタンカーメン王やクレオパトラ女王が活躍した時代の空を再現しながら、星座の起源に迫ります。

開催 1月19日(日) 17:10-18:40
対象 小学5年生～大人 ※小学生は保護者と参加
申込 web 先着 / 12月15日正午より受付(定員 234人)

2025.1 休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9 0歳プラネ	10	11 観望会
12	13	14	15	16	17	18
19 講演会	20	21	22 おもいやり	23	24	25
26 大人向け	27	28	29 大人向け	30	31	

各日のイベント・投影の内容や参加方法については
当館 web サイトまたはロクトニュースにてご確認ください

